資料６－２

令和8年度
発達障害者相談支援スキルアップ研修
実施報告

社会福祉法人　嬉泉

研修概要

目的：区市町村における相談支援の質を確保するため、支援現場で中核を担う人材の育成（より実践的な技術の取得（スキルアップ））を図り、相談支援窓口における支援力の強化に資すること

対象：区市町村ならびに発達障害に関わる支援機関において、相談支援業務等の中核を担う職員

内容：

■相談研修Ⅰ「乳幼児期の発達障害～理解と支援～」

■相談研修Ⅱ「思春期の発達障害と性～理解と支援～」

■相談研修Ⅲ「青年期の発達障害～教育から社会へ～」

■相談研修Ⅳ「発達障害のある子どもの家族への支援」

■相談研修Ⅴ「保育所における発達に課題のある子どもへの支援～保育所の実際の取り組みから学ぶ～」

■実技研修Ⅰ「発達障害のある人へのアセスメント技術を高める」 ★実施済

■実技研修Ⅱ「発達障害のある人へのソーシャルスキルトレーニング～『SST』という支援方法を知ろう～」

■実践発表　「入所施設における発達障害のある人への支援の実際～受容的交流アプローチの取り組み～」

■体験研修　「通所および入所施設における体験研修を通して、発達障害者への理解と支援を学ぶ」

① 「袖ヶ浦ひかりの学園」（入所施設）

② 「おおらか学園」（通所施設）

■体験研修

研修内容

■実技研修Ⅰ

「発達障害のある人へのアセスメント技術を高める」

・講　　師：近藤　直司　氏（大正大学名誉教授）

・日　　時：令和8年7月10日（金）10時～16時30分

・場　　所：ワイム貸会議室　高田馬場

・参加人数：23名（定員：20名）

実施状況
参加を申し込んだ理由（複数回答有）

※令和8年7月31日までの実施終了研修
（研修回数：1回　参加者総数：23名）

理由	人数
職場のすすめ	9
関心があったから	13
知識を得るため	14
日常の支援に活かすため	13
その他	2

N＝23/23
＊複数回答有

実施状況
参加者の概況（所属・分野）

※令和8年7月31日までの実施終了研修
（研修回数：1回　参加者総数：23名）

分野		人数
保健		2
福祉	保育	3
	障害	11
	その他	4
教育		3
医療		0
労働		0
その他		0

N＝23/23

実施状況
感　想（事後アンケートによる）

・見立てや根拠を整理し明確にすることで、支援課題やプランニングが立てやすいということが作業する中で実感できた。
・考えを整理して、アウトプットの練習をすることで、自身のスキルがアップすると感じた。
・他機関、多職種が集まったケース検討会を有効な機会にするために、ポイントをしぼって発言すること、質問の意図を確認すること、目的意識を具体的にすること等が体験によって理解できた。

実施予定　研修内容

※別紙（研修計画一覧）参照

令和８年度東京都発達障害者支援体制整備推進事業研修計画一覧

発達障害者相談支援スキルアップ研修

区分	日時	会場	定員	研修内容（研修名／講師／内容）
相談研修	2026 年 9 月 5 日 （土） 10 時～ 12 時 30 分	オンライン	30 名	相談研修Ⅰ「乳幼児期の発達障害～理解と支援～」 ■講師：田中　哲氏 （子どもと家族のメンタルクリニックやまねこ院長　精神科医師） ■内容：「乳幼児期の発達障害」についての講義、質疑応答を行う
	2026 年 10 月 10 日 （土） 13 時～16 時	ワイム貸会議室 お茶の水	15 名	相談研修Ⅱ「思春期の発達障害と性について」 ■講師：木村　一優氏 （医療法人新新会　多摩あおば病院副院長　精神科医師） ■事例提供者：小出　桃香 （清瀬市子どもの発達支援・交流センター　保育士） ■内容：「思春期の発達障害」の講義、事例提供を踏まえ、参加者によるグループディスカッションを行う
	2026 年 10 月 24 日 （土） 9 時 30 分 ～12 時 30 分	ワイム貸会議室 高田馬場	15 名	相談研修Ⅲ「青年期の発達障害～教育から社会へ～」 ■講師：渡辺　慶一郎氏 （東京大学　相談支援研究開発センター　精神科医師） ■事例提供者：阿部　貴史　氏 （板橋区発達障がい者支援センターあいポート　センター長） ■内容：「青年期の発達障害」の講義、事例提供を踏まえ、参加者によるグループディスカッションを行う
	2026 年 11 月 6 日 （金） 14 時～17 時	社会福祉法人嬉泉 子どもの生活研究所	10 名	相談研修Ⅳ「発達障害のある子どもの家族への支援」 ■講師：岩澤　寿美子 （清瀬市子どもの発達支援・交流センター　センター長） ■事例提供者：山下　暁 （大田区立こども発達センターわかばの家　主任　相談員　公認心理師） ■内容：「発達障害のある子どもの家族への支援」の講義、事例提供を踏まえ、参加者によるグループディスカッションを行う
	2027 年 1 日 29 日 （金） 14 時～17 時	社会福祉法人嬉泉 子どもの生活研究所	10 名	相談研修Ⅴ「保育所における発達に課題のある子どもへの支援 ～保育所の実際の取り組みから学ぶ～」 ■コーディネーター：佐瀬　美穂（鎌田のびやか園　園長） ■事例提供者：和賀　茜（すこやか園　主任　保育士）） 佐藤　真由美（鎌田のびやか園　主任　保育士） ■内容：保育所の集団における発達に課題のある子どもへの対応等の実践報告を踏まえ、参加者によるグループディスカッションを行う
実技研修	2026 年 7 月 10 日 （金） 10 時 ～16 時 30 分	ワイム貸会議室 高田馬場	20 名	実技研修Ⅰ「発達障害のある人へのアセスメント技術を高める」 ■講師：近藤　直司氏（大正大学名誉教授） ■内容：「アセスメント方法、事例検討の進め方について」の講義、事前課題のフォーマットの修正（演習）をし、ケース発表を行う。又、それを基にした事例検討会を進めていくノウハウやケースを人に伝えることについて学ぶ
	2026 年 8 月 5 日 （水） 10 時～16 時	ワイム貸会議室 お茶の水	20 名	実技研修Ⅱ 「発達障害のある人へのソーシャルスキルトレーニング ～『SST』という支援方法を知ろう～」 ■講師：岡田　澄恵氏（SST 普及協会認定講師） 河島　京美氏（SST 普及協会認定講師） 清水　有香氏（SST 普及協会認定講師） ■内容：発達障害のある人への支援における SST の適用を学び、実習を通して支援者としてのあり方を振り返る

区分	日時	会場	定員	研修内容（研修名／講師／内容）
実践発表	2027 年 1 月 23 日 （土） 13 時～16 時	ワイム貸会議室 お茶の水	15 名	実践発表 ■コーディネーター：石井　啓（社会福祉法人嬉泉　理事長） ■発表者：泉山　修平（袖ヶ浦のびろ学園　主任　児童指導員） 友野　真之（袖ヶ浦ひかりの学園　副主任　支援員） ■質問者：柏木　理江（東京都発達障害者支援センターこども TOSCA　相談員） 西村　和久（清瀬市子どもの発達支援・交流センター　公認心理師） ■内容：入所施設における発達障害のある人への支援『受容的交流アプローチ』の取り組みについて実践発表を行う。その後、発表者と質問者による質疑応答や参加者を含めた全体討議等を通して、支援者としての姿勢やあり方を振り返る
体験研修	■日にち 1/12（火）・1/14（木）・1/19（火） 1/21（木）・1/26（火） ■時間 9 時 30 分～11 時 30 分		1 日 2 名	体験研修① 入所施設（袖ヶ浦ひかりの学園）における見学・体験研修を通して発達障害者への理解と支援を学ぶ ■コーディネーター：菅原　良武（袖ヶ浦ひかりの学園　主任） ■内容：見学及び体験研修
	■日にち 1/20（水）・1/22（金）・1/27（水） 1/29（金）・2/5（金） ■時間 10 時～12 時		1 日 2 名	体験研修② 通所施設（おおらか学園）における見学・体験研修を通して発達障害者への理解と支援を学ぶ ■コーディネーター：坂下　幸生（おおらか学園　園長） ■内容：見学及び体験研修

研修のお申込みについて

〇各研修日程の 1 カ月～2 カ月前に、各区町村経由でスケジュール等詳細をご案内しております。
又、同時期に社会福祉法人嬉泉のホームページにも掲載いたします。

〇申し込みにつきましては、全日程随時、メールにて受付をしております。定員になり次第、締め切りとなりますので、予めご了承下さい。

〇受講の可否につきまして、メールにてご連絡いたします。

【申込先】

メール：kenshu-s@kisenfukushi.com

■メールに以下の事項をご記載し、お申込み下さい。

① 受講希望の研修名
② 名前（ふりがな）
③ 勤務地の区市町村
④ 事業所名
⑤ 職種
⑥ 発達障害にかかわる相談支援等の経験年数
⑦ 連絡（勤務）先：メールアドレスおよび電話番号

〈記載例〉
件名：【嬉泉　太郎】相談研修Ⅰ　受講申込
① 相談研修Ⅰ　乳幼児期の発達障害
② 嬉泉　太郎（きせん　たろう）
③ 世田谷区
④ 社会福祉法人嬉泉　〇〇センター
⑤ 相談支援専門員
⑥ 5 年
⑦ kenshu-s@kisenfukushi.com
03-3426-2323

【問合先】

社会福祉法人嬉泉　子どもの生活研究所　スキルアップ研修事務局（坂田、山﨑）TEL：03-3426-2323